

RES260 質的調査法 (E)

2年 3,4クォーター

担当教員	LOMBARDI Ivan, HENNESSY Christopher, KING Kelly, BECCE Nicolangelo
授業形態	講義
単位数	2
曜日・時限	月曜日・2時限

授業概要

本コースでは、主要な質的研究方法について紹介する。最初の4週間はデータソースの検索方法、参考文献の整理の仕方、アカデミック・ライティングのためのソフトウェアツールの導入を中心に扱い、質的研究の始め方を説明する。次の4週間では、様々なインタビュー法を学び、これらの方法論をインタビューの実施・分析に応用する。また、その次の4週間では、民族誌学的研究などの質的研究で用いられるデータ収集方法を紹介する。学生は能動的な参与者観察に関する資料を読み、内容について話し合い、実際にそのような観察を行うことになるが、これには記述的・省察的なノートテイクが含まれる。更に、最後の4週間では、研究計画の展開に必要な基本的なスキルを習得する。

到達目標

学生は以下のことを行う：

- (1) 研究を実施するための基本的な質的研究方法を理解してその適用を行う。
- (2) どのように研究を始めるのか理解し、そのための資料を整理するにはどのようなツールを利用すれば良いのかを学ぶ。
- (3) 今後の学術的・専門分野でのキャリアで使えるインタビュー調査法を学び、発展させる。
- (4) 観察を質的研究におけるデータ収集方法として見て、その目的と用途を理解する。
- (5) 説明的ノートテイクと省察的ノートテイクの違いを認識する。
- (6) 研究のために質問事項を選び、質的研究の研究計画を提案する。

先修科目

RES 110 リサーチ入門 (E)

教科書・参考資料等

コース資料一式とリーディング材料をクラスで配付する。

授業の方法

この授業は、ワークショップ形式で行われ、4人の教員がそれぞれ1モジュールを担当する。各モジュールは4回の授業から構成され、質的研究の実施における重要なポイントに焦点を当てる。各モジュールのテーマはそれぞれ (1) 質的研究の開始、(2) インタビュー法、(3) 受動的・参加者的観察、(4) 質的研究の提案を計画し、行う。学生は、研究経験を得るためにディスカッションや実践的活動に参加する。また、授業内容に適した講読を行う。

成績評価

4週間の各モジュールにおける実践的な研究活動で行ったことを評価する。

成績

- 25% 質的研究の開始
- 25% インタビュー法
- 25% 受動的・参加者的観察
- 25% 質的研究の提案書の計画と作成

授業スケジュール

1-4週目：質的研究の開始

質的研究への導入を行う。研究プロジェクトを始めるにあたり、どのようにリソースとツールを効果的に使用するかについて説明する。

5-8 週目：インタビュー法

様々なインタビュー調査法への導入を行い、その後、インタビュー法を用いた研究を経験するために実際に諸活動を行わせる。

(第3クォーター終了)

9-12 週目：受動的・参加者の観察

質的研究で用いられる観察とノートテイクのテクニックへの導入を行うが、同時に講読と実践も行う。ペアあるいは少人数グループでこれらのテクニックを「実践」し、ノートと観察内容を共有し、観察によってどのような理解が得られるのか考察する。

13-16 週目：質的研究の企画準備と企画書の作成

効果的な質的研究の企画の枠組みを考え、それを発展させて企画書を書くために必要なスキルや方法を紹介する。

(第4クォーター終了)

事前・事後学習

- ・ 予習：参考図書の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。